

平成30年3月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)

(氏名) 西牟田 泰央

平成29年11月7日

上場会社名 株式会社カーチスホールディングス

上場取引所

東

コード番号 7602 URL http://www.carchs-hd.com/

(役職名) 取締役兼代表執行役社長

代表者 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役企画管理本部長

(氏名) 大庭 寿一 TEL 03-5825-5075

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 四半期決算説明会開催の有無 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四 半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	12,255	20.6	116		106		135	
29年3月期第2四半期	15,434	9.4	149		131		162	

(注)包括利益 30年3月期第2四半期

138百万円 (%) 29年3月期第2四半期

182百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
30年3月期第2四半期	6.85	
29年3月期第2四半期	7.34	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
30年3月期第2四半期	7,995	5,863	70.5	284.48
29年3月期	8,467	6,081	69.1	295.32

(参考)自己資本

30年3月期第2四半期 5,633百万円

29年3月期 5,848百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	
29年3月期	0.00	0.00	0.00	4.00	4.00	
30年3月期	0.00	0.00				
30年3月期(予想)			0.00	4.00	4.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日~平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	川益	親会社株主 当期純		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	30,100	4.7	550		570		370		18.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	19,804,741 株	29年3月期2Q	22,206,860 株
30年3月期2Q	4,282,426 株	29年3月期	4,282,146 株
30年3月期2Q	24,087,009 株	29年3月期	24,087,009 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来の予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大き〈異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四	四半期決算に関する定性的情報	2
((1)	経営成績に関する説明	2
((2)	財政状態に関する説明	2
((3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四当	半期連結財務諸表及び主な注記	4
((1)	四半期連結貸借対照表	4
((2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
		四半期連結損益計算書	
		第2四半期連結累計期間	6
		四半期連結包括利益計算書	
		第2四半期連結累計期間	7
((3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
((4)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
		(継続企業の前提に関する注記)	9
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
		(セグメント情報等)	9
		(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日)におけるわが国の経済は、政府の経済対策等の効果もあり、企業収益の改善に伴い、雇用環境・所得環境についても緩やかな改善傾向にあるものの、国内の個人消費におきましては、7月から8月にかけて、天候不順の影響を大きく受けたこともあり、依然として先行き不透明な状況が続き、お客様の選別の目は一層厳しくなってきております。また、世界の景気は欧米においては金融政策が超緩和から正常化へ引締め方向に動きつつあることや、アジアにおける地政学的リスクの顕在化が及ぼす影響もあり、景気の先行きは依然不透明な状況にあります。

当社グループが属する自動車業界においては、国内における新車の販売台数(軽自動車含む)は、前年同期比7.7%増加となりました。中古車市場においても、中古車登録台数(軽自動車含む)3.1%増加しており、持ち直しつつあります。

このような環境の中で、当社グループはオートオークション相場が低調に推移(平成29年4月~9月平均成約率 0.3%低下、成約単価前年実績比99.3%、出典:株式会社ユー・エス・エス オークションデータ)していること、第1四半期から生産性の向上、効率性の追求による営業拠点の統廃合を実施していることにより、当第2四半期より徐々に効果が出てきておりますが、販売台数・買取台数の低下及び営業拠点閉鎖に伴う一時的な費用が発生した結果、売上高・売上総利益が減少し、営業損失を計上いたしました。なお、当第2四半期末時点での営業拠点数は57拠点となっております。

(単位:百万円)

	当第1四半期 (平成29年4~6月)	当第2四半期 (平成29年7~9月)	当期累計 (平成29年4~9月)
	(十成25十年 - 0月)	(十成25年1-5月)	(十)及29十年 - 9月)
売上高	6, 104	6, 151	12, 255
営業利益	△224	108	△116
経常利益	△221	115	△106

以上の結果、売上高は12,255百万円(前年同期比20.6%減)、売上総利益は2,468百万円(前年同期比15.7%減)、営業損失は116百万円(前年同期は営業損失149百万円)、経常損失は106百万円(前年同期は経常損失131百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は135百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失162百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は7,995百万円となり、前連結会計年度末と比べ、472百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の増加715百万円、受取手形及び売掛金の減少590百万円、商品の減少509百万円などによるものであります。

負債合計は2,132百万円となり、前連結会計年度末と比べ、253百万円減少いたしました。主な要因といたしましては、短期借入金の減少150百万円、未払金の減少67百万円、長期借入金の減少50百万円などによるものであります。

純資産は、5,863百万円となり、前連結会計年度末に比べ218百万円減少いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失を135百万円計上したこと、剰余金の配当が79百万円あったことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は70.5%(前連結会計年度末は69.1%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ715百万円増加し、残高は2,985百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純損失は116百万円であり、売上債権の減少590百万円、たな卸資産の減少509百万円、未払 消費税等の増加38百万円のプラス要因と、未払金の減少69百万円などのマイナス要因により、結果として983百万 円のプラスとなりました(前年同期は290百万円のマイナス)。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

敷金及び保証金の回収による収入9百万円のプラス要因と、有形固定資産の取得による支出4百万円、資産除去債務の履行による支出3百万円などのマイナス要因により、結果として1百万円のプラスとなりました(前年同期は158百万円のマイナス)。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純減額150百万円、長期借入金の返済による支出50百万円、配当金の支払額66百万円などのマイナス要因により、結果として270百万円のマイナスとなりました(前年同期は551百万円のマイナス)。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月9日の「平成29年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

		(単位:十円)
	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2, 575, 409	3, 290, 594
受取手形及び売掛金	1, 551, 099	960, 267
商品	2, 211, 623	1, 702, 358
貯蔵品	1, 956	1, 707
その他	224, 786	226, 593
貸倒引当金	△1, 141	△11, 116
流動資産合計	6, 563, 733	6, 170, 405
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1, 386, 981	1, 356, 753
減価償却累計額	△680, 200	△700, 330
建物及び構築物(純額)	706, 781	656, 423
土地	515, 582	515, 582
その他	204, 121	204, 601
減価償却累計額	△152 , 218	\triangle 161, 974
その他(純額)	51, 903	42, 627
有形固定資産合計	1, 274, 266	1, 214, 632
無形固定資産		
その他	79, 967	71, 333
無形固定資産合計	79, 967	71, 333
投資その他の資産	·	
投資有価証券	20, 176	20, 176
破産更生債権等	4, 989	4, 949
差入敷金保証金	522, 238	511, 872
その他	6, 840	6, 840
貸倒引当金	$\triangle 4,632$	$\triangle 4,592$
投資その他の資産合計	549, 611	539, 245
固定資産合計	1, 903, 846	1, 825, 211
資産合計	8, 467, 579	7, 995, 616

		(十四・114)
	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	346, 358	330, 933
短期借入金	330, 000	180, 000
1年内返済予定の長期借入金	100, 000	100, 000
未払金	356, 094	288, 109
未払法人税等	28, 291	26, 980
賞与引当金	2, 302	416
その他	594, 836	637, 712
流動負債合計	1, 757, 883	1, 564, 153
固定負債		
長期借入金	375, 000	325, 000
預り保証金	10, 760	10, 755
繰延税金負債	28, 086	25, 416
資産除去債務	190, 400	183, 704
その他	23, 967	23, 139
固定負債合計	628, 214	568, 015
負債合計	2, 386, 098	2, 132, 169
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 816, 034	2, 816, 034
資本剰余金	846, 636	846, 636
利益剰余金	3, 552, 104	3, 337, 293
自己株式	$\triangle 1, 365, 926$	$\triangle 1,366,004$
株主資本合計	5, 848, 848	5, 633, 959
新株予約権	2,710	2,710
非支配株主持分	229, 921	226, 777
純資産合計	6, 081, 481	5, 863, 447
負債純資産合計	8, 467, 579	7, 995, 616
7 10 11 -2 11 -2 H F1		.,500,010

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	15, 434, 591	12, 255, 854
売上原価	12, 504, 909	9, 786, 909
売上総利益	2, 929, 681	2, 468, 945
販売費及び一般管理費	3, 079, 001	2, 585, 728
営業損失(△)	△149, 319	△116, 783
営業外収益		
受取利息	5, 165	2, 793
受取配当金	1,091	788
受取手数料	1,727	1, 494
受取保証料	1, 970	1,619
金利スワップ評価益	431	828
雑収入	13, 487	8, 643
営業外収益合計	23, 874	16, 167
営業外費用		
支払利息	2, 821	2, 379
支払保証料	2, 939	2, 814
修理費	264	821
雑損失	297	93
営業外費用合計	6, 322	6, 109
経常損失 (△)	△131, 768	△106, 724
特別損失		
固定資産除却損	2, 815	_
減損損失	20,822	9, 303
特別損失合計	23, 638	9, 303
税金等調整前四半期純損失 (△)	△155, 406	△116, 028
法人税、住民税及び事業税	27, 000	25, 377
法人税等調整額	273	△2, 669
法人税等合計	27, 273	22, 707
四半期純損失(△)	△182, 680	△138, 736
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△19,714	△3, 144
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△162, 965	△135, 591

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△182, 680	△138, 736
四半期包括利益	△182, 680	△138, 736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	$\triangle 162,965$	△135, 591
非支配株主に係る四半期包括利益	△19, 714	△3, 144

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△155, 406	△116, 028
減価償却費	75, 241	61, 225
減損損失	20, 822	9, 303
貸倒引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 436$	9, 934
賞与引当金の増減額(△は減少)	1, 200	△1,885
受取利息及び受取配当金	△6, 256	$\triangle 3,581$
支払利息	2, 821	2, 379
有形固定資産除却損	2, 502	_
無形固定資産除却損	313	_
売上債権の増減額(△は増加)	△133, 092	590, 831
たな卸資産の増減額(△は増加)	△108, 553	509, 513
仕入債務の増減額(△は減少)	$\triangle 40,372$	$\triangle 15,425$
破産更生債権等の増減額(△は増加)	436	40
未払金の増減額(△は減少)	△13, 482	△69, 245
未払費用の増減額(△は減少)	△1, 980	28, 678
前受金の増減額(△は減少)	79, 403	△19, 072
未払消費税等の増減額(△は減少)	28, 893	38, 772
その他	1,614	△19, 116
小計	△246, 332	1, 006, 324
利息及び配当金の受取額	3, 499	4, 321
利息の支払額	△2, 821	△2, 379
法人税等の還付額	87, 186	_
法人税等の支払額	△132, 507	△24, 684
営業活動によるキャッシュ・フロー	△290, 975	983, 582
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△91, 946	△4, 538
無形固定資産の取得による支出	$\triangle 44,395$	_
資産除去債務の履行による支出	\triangle 27, 129	$\triangle 3,200$
敷金及び保証金の差入による支出	△7, 072	△408
敷金及び保証金の回収による収入	11, 596	9, 775
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158, 946	1, 627
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△2, 682	△3, 602
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,000	△150, 000
長期借入金の返済による支出	△60, 140	△50, 000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	49	-
自己株式の取得による支出	△408, 719	△77
配当金の支払額	△90, 267	△66, 344
財務活動によるキャッシュ・フロー	△551, 760	△270, 025
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1, 001, 682	715, 184
現金及び現金同等物の期首残高	3, 213, 523	2, 270, 402
現金及び現金同等物の四半期末残高	2, 211, 840	2, 985, 587

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

当社グループは、自動車関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。